

住民のみなさん、貴重なカンパありがとうございました

「ポンプ交換費用250万円寄付金」市に持参。

— 宇治市狼狽。金庫に保管・受取保留！ —

市は住民の思いを受け止め、ポンプ交換を直ちに。

宇治の開浄水場休止問題

ポンプ交換費用、地元が提出

カンパで250万円集金、市は回答保留

宇治の開浄水場の休止をめぐり市と住民が対立している問題で、開地区自治連合会（海老温信会長）など地元3自治会は、老朽化が進んでいる揚水ポンプの交換費用250万円をカンパで集めた。25

日、市役所に寄付金として届けたが、市はすでに寄付の申し入れを拒否する姿勢を示しており、預かったまま回答を保留した。

しかし、ポンプの老朽化が進んでおり、市は「休止決定した浄水場に予算措置は取れない。ポンプが停止すれば、府営水に切り替える」と提示。このため3自治会は、ポンプ一式と工事費用を地元で負担

しようと住民にカンパを募っていた。

ただ、市側はすでに7月15日付けで「休止方針に反する」などとして寄付の申し入れ拒否を表明。この日も対応した市秘書課が金を預かり、回答は控えた。

「ポンプがいつ止まるかわからない現状の中、不安をもって生活している住民の願い（ポンプ交換）が1日でも早く叶うよう、寄付金を受け取り、交換することを願っている」とした。

なお、休止をめぐって市と地元が係争中の裁判は、29日に京都地裁で原告（地元）側の最終弁論が行われる見通し。【本好治夫】

ポンプ購入費など250万円持参

開浄水場休止問題で地元自治会

宇治市受け取り拒否

開浄水場休止問題で宇治市と係争中の地元

開地区自治連合会（海老温信会長）などは25日、市役所を訪れ、揚水ポンプ購入費と交換費の合計250万円を寄付申入書（久保田勇市長宛て）とともに提出したが、市は受け取りを拒否。住民らは持ち帰ることを断り、秘書課に置いて帰った。

今年2月にポンプが停止するトラブルが発生した。完全に壊れてしまつては裁判で勝訴しても意味をなさない——と考えた住民側は7月にポンプ購入費、交換費の寄附申入書を提出したが、市は「受け取

城南新報

2009年(平成21)9月26日(土曜日)

洛南タイムス

2009年(平成21年)9月26日(土曜日)